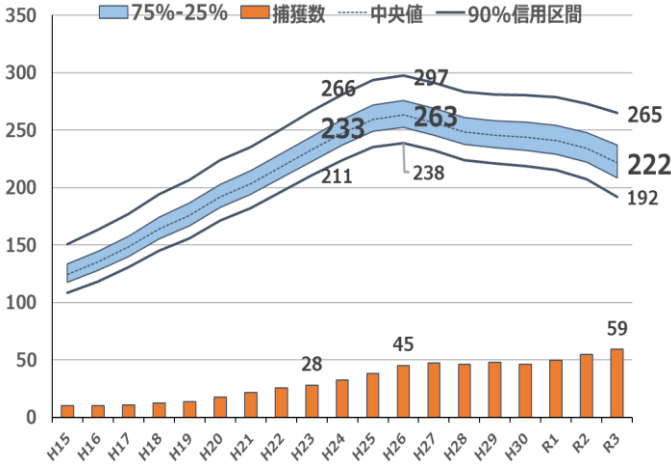


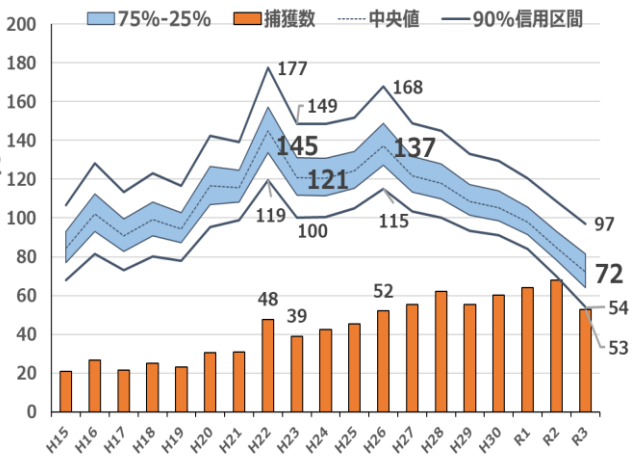
指定管理鳥獣（ニホンジカ・イノシシ）の捕獲により、森林植生の食害に伴う土砂災害を防止する（全国）

事業者：都道府県、協議会

ニホンジカ（本州以南）の推定個体数と捕獲数



イノシシの推定個体数と捕獲数



縦軸：総個体数（万頭）
横軸：年度

対策名：47 指定管理鳥獣捕獲等に関する対策



主たる施策グループ：4-7) 農地・森林や生態系等の被害に伴う国土の荒廃・多面的機能の低下

事業名：指定管理鳥獣捕獲等事業交付金

- ポイント**
- 森林植生に深刻な被害をもたらす指定管理鳥獣（ニホンジカ・イノシシ）の都道府県による捕獲等を支援
 - ニホンジカ・イノシシの適正な生息密度を実現することで、森林植生の食害に伴う土砂災害を防止

地域の概要・課題

近年、ニホンジカ及びイノシシの生息数の増加や生息域の拡大により、農林業や生態系等に深刻な被害をもたらすとともに、森林植生の食害による土砂災害等が発生しています。このような状況を踏まえ、環境省では、農林水産省と連携し、都道府県によるニホンジカ及びイノシシの集中的かつ広域的な捕獲事業を支援することで、それぞれの個体数の半減を目指し、捕獲体制の強化に取り組んでいます。

事業の概要

生息密度の高い森林や山間部において、都道府県が策定する指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画に基づき、ニホンジカ及びイノシシの捕獲を実施しました。

また、従来よりも効果的な捕獲の促進（ICTを活用したわな猟等の捕獲手法の技術開発など）を行い、更なる捕獲体制の強化を図りました。

上記の取組により、令和4年度の本事業による捕獲実績は、ニホンジカ約4.2万頭、イノシシ約1.2万頭となっています。

見込まれる効果

全国のニホンジカ、イノシシの推定個体数は、本事業を含むこれまでの捕獲の効果等により、平成26年度をピークに減少傾向にあります。

（上図参照）

指定管理鳥獣捕獲等事業交付金では、特に生息密度の高い森林や山間部での捕獲を中心に取り組んでおり、ニホンジカ及びイノシシの個体数の減少に寄与しているものと考えられます。

ニホンジカ等の食害により、森林植生に下層植生の消失等の深刻な被害がもたらされており、これらの適正な生息密度を実現することで、森林植生の食害に伴う土砂災害等を防止する効果が見込まれます。